

市史研究紀要たからづか 在庫状況および内容一覧表

宝塚市立中央図書館市史資料担当

名 称	価 格 (発 行 日)	在庫状況	内容(論文名と執筆者名。史泉・史料紹介の掲載編数。史泉は歴史随筆)
研究紀要 創刊号	600円 (昭和59・2・20)	○	松尾神社と摂津国山本庄・伯耆国東郷庄(渡辺久雄)、近世村絵図からみた摂津川辺郡条里(八木哲浩)、史泉2、史料紹介2
研究紀要 第2号	600円 (昭和59・10・20)	○	宝塚歌劇と小林一三ーその創設と考え方ー(熊野紀一)、江戸積撰泉十二郷酒造仲間と北在郷(柚木 学)、史泉等4、史料紹介2
研究紀要 第3号	600円 (昭和61・3・20)	○	回想・宝塚市長尾山の古墳調査(石野博信)、宝塚市中山荘園の多角形古墳について(直宮憲一)、史泉3、史料紹介1、史跡紹介1
研究紀要 第4号	600円 (昭和62・3・10)	○	宝塚の神社建築の細部意匠ー中世と近世初頭ー(多淵敏樹)、切畑の民俗(佐々木泰彦)、史泉3、史料紹介2
研究紀要 第5号	600円 (昭和63・4・11)	○	『冥途蘇生記』再考(熱田 公)、学制期における小学区制とその崩壊ー宝塚市域の小学校を中心にー(宮川秀一)、史泉3、史料紹介2
研究紀要 第6号	600円 (平成元・2・28)	○	宝塚市地名雑記(落合重信)、長尾山丘陵における横穴式石室ーその企画法と構築技法ー(岡野慶隆)、史泉4、史料紹介2
研究紀要 第7号	700円 (平成2・10・15)	○	改正教育令から小学校令へー宝塚市域の小学校を中心にー(宮川秀一)、史泉3、史料紹介2
研究紀要 第8号	700円 (平成3・11・1)	○	宝塚歌劇と白井鐵造ーレビューひとすじ64年ー(香村菊雄)、宝塚市長尾地域における植木生産の展開(卜部勝彦)、史泉3、史料紹介2
研究紀要 第9号	900円 (平成4・10・20)	○	長谷地区の変貌過程(山本剛郎)、古墳の開口方位とその思想的背景(直宮憲一)、史泉3、史料紹介1
研究紀要 第10号	900円 (平成6・3・22)	○	宝塚を中心とした戦前の鉄道敷設計画(小野寺逸也)、一橋領発行の御産物木綿預手形について(松田光広)、特集・昭和初期の宝塚温泉、史料紹介1
研究紀要 第11号	900円 (平成6・10・17)	○	小林一三と宝塚ー大阪の企業人脈と地域開発ー(作道洋太郎)、明治12年・兵庫県の協議費交番所創設事情についてー一条約改正交渉問題との関連を中心にー(草山 巖)、史泉2、史料紹介1、資料室ノート1
研究紀要 第12号	900円 (平成8・4・15)	○	戦間期の郊外電鉄敷設計画と地域独占ー宝塚尼崎電気鉄道をめぐる対抗ー(小野寺逸也)、史泉3、史料紹介1、報告1
研究紀要 第13号	900円 (平成9・3・17)	○	近世前期の中山寺と中山寺村ー文禄・延宝検地帳、宝暦の延宝検地帳写の比較によるー(石川道子)、都市における財産区管理ー宝塚市川面地区の事例からー(牧野厚史)、史料紹介2、総目次1
研究紀要 第14号	900円 (平成9・10・6)	○	大正初期における宝塚の風景ー箕面有馬電気軌道(株)の沿道PR誌『山容水態』での紹介記事を中心にー(津金澤聡廣)、中山寺の参詣者と寄進銀の推移ー元禄～享保期の「中山寺寄進帳」よりー(石川道子)、史料紹介3
研究紀要 第15号	900円 (平成10・11・16)	○	宿駅と在村の旅宿ー中山寺門前旅宿と近隣宿駅の争論を中心にー(石川道子)、近世前中期米谷村の土地所持状況についてー和田家の状況を中心にー(八木 滋)、旧長尾村にあった二つの陸軍施設ー大阪陸軍獣医資材支廠と大阪陸軍造兵廠川西補給廠ー(森美恵子)、史泉2
研究紀要 第16号	900円 (平成11・11・1)	△	現代の生活史を考えるー1970年から1990年という変動の時代ー(田辺真人)、川西航空機宝塚製作所についてー7月24日の爆撃を中心にー(佐々木和子)、史泉3、史料紹介2、特集クロガネモチ2
研究紀要 第17号	900円 (平成12・11・6)	○	「映画のまち」のルーツー宝塚映画製作所の歩みー(長沼隆之)、飯野藩上方領分支配とその担い手についてー近世中後期を中心にー(木村修二)、史泉1、史料紹介等3

研究紀要 第18号	900円 (平成13・11・5)	○	平塚嘉右衛門と建築家・古塚正治について―近代の建築からみる宝塚の都市形成―(川島智生)、旗本渡辺氏の在地代官と中筋陣屋(大国正美)、史泉2、史料紹介1
研究紀要 第19号	900円 (平成14・11・5)	○	対談「歴史を生かしたまちづくり」(田辺真人・正司泰一郎)、宝塚新温泉の成立とその建築について―小林一三の理念と新しいビルディングタイプの誕生―(川島智生)、寛文八年安倉姥ヶ茶屋道標と小浜をめぐる宝塚の初期道標(前)(古川久雄)、旗本青山氏の在地代官・森田久右衛門―中筋村にあったもうひとつの陣屋―(大国正美)
研究紀要 第20号	900円 (平成15・11・28)	○	遊園地・宝塚新温泉が形成した娯楽空間の史的理解(安野彰)、幕末期の摂津国一橋領―一橋慶喜の京都での活動を支えた所領―(岩城卓二)、寛文八年安倉姥ヶ茶屋道標と小浜をめぐる宝塚の初期道標(後)(古川久雄)、土井内蔵(松本安弘)邸と建築家・川崎忍について―戦前期の宝塚における洋風住宅の研究―(川島智生)
研究紀要 第21号	900円 (平成16・11・15)	○	宝塚の伊勢講―村々の伊勢講と参宮行程―(石川道子)、三十三所順礼開設の動機とその展開(池田重義)、勧修寺家領摂津国小林荘について(渡邊大門)、『軍国女学生』と出合った夏―歌劇団映画が語る戦時下のタカラヅカー(益田裕文)
研究紀要 第22号	900円 (平成17・11・11)	○	旧宝塚公会堂の建設経緯とデザインの特徴について(安野彰)、摂津国人塩川氏に関する一考察(渡邊大門)、いちご「宝交早生」の育成(大西忠男)、歌劇の国のタカラヅカー都市再生の鍵は、その宝の塚にあるのか その1―(瀬川直子)、宝塚市に残る石造美術(社会教育課)
研究紀要 第23号	900円 (平成19・3・1)	○	沖縄から宝塚へ―さらにもうひとつの歴史―(山口寛)、下佐曾利村万右衛門―苦悩の軌跡―(池田重義)、宝塚市の文化財～工芸編～(社会教育課)、史料紹介1
研究紀要 第24号	900円 (平成21・3・31)	○	宝塚歌劇団への男性加入―小林一三の「国民劇」構想―(辻則彦)、一橋家の札遣い―御産物木綿預り手形の発行と流通―(石川道子)、国指定史跡「中山荘園古墳」保存整備事業について(社会教育課)、史料紹介1
研究紀要 第25号	900円 (平成23・3・31)	○	映像にみる宝塚―映画『学生三代記―野球の巻』が伝える宝塚の1930年―(郷田真理子・鈴木裕輔・山梨牧子)、「手塚治虫と宝塚」(中村よお)、激動の時代を「宝塚」で生きて―「新宝塚音頭」振付の山口幸子(芸名、神歌美鈴)さん―(辻則彦)、大正期・宝塚鑛泉株式会社の建築と模範職工団について―セセッションの洋館と設計者・松本儀八と藤枝良―(川島智生)、往来する神々、越境する人々―宝塚市の朝鮮寺・宝教寺をめぐる―(山口寛)、宝塚地車文化の発祥と歴史―歌劇の街「たからづか」のだんじり祭り―(川面地車保存会)、天明8(1788)年の巡見使道を巡る―上川面のいま、むかし―(大垣文男)、史料紹介1
研究紀要 第26号	900円 (平成25・3・31)	○	日露戦争期の陸軍転地療養所―中山寺の事例を中心に―(今西聡子)、兵庫津車屋五兵衛家の船宿経営 宝塚市市史資料室に寄贈された「車田家文書」より(石川道子)、戦争に翻弄された宝塚音楽学校の生徒たち(辻則彦)、史料紹介、寄贈資料紹介
研究紀要 第27号	900円 (平成27・3・31)	○	新聞記事にみる宝塚新温泉の草創期(安野彰)、第二次世界大戦前後の宝塚歌劇―長年にわたる宝塚ファンの証言より―(辻則彦)、川辺郡内の古代氏族―若湯坐氏を中心として―(松下正和)、「富岡鉄斎と長尾雨山・内藤湖南」展について―作品・資料の翻刻と解説―(柏木知子・森藤光宣)、史料紹介、宝塚市と関西学院大学の連携による都市再生プロジェクト―学生の感性・アイデア・行動力を活かした地域活性化の取組―(定藤繁樹)、寄贈資料紹介
研究紀要 第28号	900円 (平成29・3・31)	○	宝塚市の天然記念物、特に丸山湿原群について(服部保)、一世紀を経て甦った絆―男役第一号、高峰妙子と音楽家、安藤弘―(辻則彦)、兵庫津車屋五兵衛家の生活文化―宝塚市市史資料室寄贈「車田家文書」より「祝い事」を中心に―(河野未央)、温泉都市宝塚の成立とその建築―温泉場と旅館街の建築―(川島智生)、長尾山古墳の調査について(社会教育課)、史料紹介、市指定有形文化財の紹介

研究紀要 第29号	900円 (平成31・3・31)	○	宝塚の地名～土地の歴史の痕跡～(渋谷武弘)、富岡鉄斎筆《富士山図》屏風の制作背景(柏木知子)、川面村安場村入組絵図(喜多祐子)、宝塚市特別名誉市民 木接太夫・坂上頼泰公(野里元治)、史料紹介
研究紀要 第30号	900円 (令和3・2・28)	○	「ウィルキンソン タンサン」と宝塚(鈴木博)、宝塚大劇場の誕生とその建築―成立背景と小林一三の理念―(川島智生)、武庫川筋土砂留普請絵図(喜多祐子)、史料紹介、研究紀要総目次、寄贈資料の紹介
研究紀要 第31号	1000円 (令和6・1・31)	○	宝塚市安倉高塚古墳の再検討(福永伸哉・上田直弥)、昭和三十年代宝塚市立小中学校校舎と建築家坂本鹿名夫―宝塚市立第一小学校の円形校舎を中心に―(川島智生)、小林村山土砂留普請箇所絵図(喜多祐子)、宝塚の石造狛犬(渡辺昇)史料紹介、寄贈資料の紹介

各号ともA5判、巻表紙、糸かがり、口絵一葉

○…在庫あり △…在庫わずか ×…在庫なし